

総務民生委員会へ付託された議案

養老町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

問 現在、町内に家庭保育事業の対象施設は無いという説明だが、将来的にできた場合、連携施設の想定は。

答 町内には特定小規模福祉施設が2箇所ある。(おあしす養老・グループホーム別庄ホーム) 特定小規模施設用自動火災報知設備は2箇所設置されている。(小倉家・ハウス希望島田ホーム)

令和元年度一般会計補正予算

問 西小倉集会所の建設費の総額と、コミュニティ助成事業の負担割合は。

答 総額は3108万3066円であり、補助率は、補助対象経費の5分の3で、助成金は上限の1500万円。

平成30年度上水道事業会計決算の認定

問 漏水の発生件数と減免額は。

答 30年度の発生件数は56件で、減免水量7456㎡に単価145円をかけたもの。なお、29年度は52件で、減免水量2807㎡であった。30年度にかけて増えた要因としては笠郷小学校と東部中学校に漏水があったため。

令和元年度一般会計補正予算

問 養老桜・紅葉の山プロジェクトについて、町民参加の方針は。

答 本事業は12月から3月までに行う予定であり、また、今回植える場所が登山口の上の大洞(おおぼら)林道であるため、参加者が安全を確保しながら記念植樹等可能かどうか検討している。

問 養老桜・紅葉の山プロジェクトについて、今後のビジョンは。

答 昨年計画を策定し、今年度は養老の滝を中心に北西側を実施する。来年度は直江の滝付近を実施する計画を予定している。

問 養老桜・紅葉の山プロジェクトについて、町民への参加要請は。

答 町民の方には安全な形で参加してもらえらるならば、ぜひ参加してもらいたい。どの団体にどう声掛けをするか、今後検討していきたい。



問 有収率が改善した要因は。

答 日頃の検針員の通報が主な情報源となっている。その他としては、町の漏水調査や住民からの情報提供を地道に処理していたところ80%を超えた。

問 対象の団体は。

答 クローバー、ハウス希望、ヨロスト、夢サポート、いきいき高齢者サポートセンター、養老ユニオン住宅の6団体。

養老町特定非営利活動促進法施行条例の廃止

問 対象の団体は。

答 青少年集会所施設整備事業補助金210万円と、高度処理型合併処理浄化槽設置整備事業補助金109万2000円を予定している。

問 町からの補助は。

答 青少年集会所施設整備事業補助金210万円と、高度処理型合併処理浄化槽設置整備事業補助金109万2000円を予定している。

令和元年5月 臨時会 こんなことがきました 審議した議案と その結果

議案	結果
養老町法定外公共物管理条例等の一部を改正する条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町簡易水道事業給水条例の一部改正	全員賛成で可決
その他	
南濃衛生施設利用事務組合議会議員の選挙	全員賛成で承認
専決処分の承認(養老町税条例等の一部改正)	全員賛成で承認
専決処分の承認(養老町国民健康保険税条例の一部改正)	全員賛成で承認
専決処分の承認(養老町介護保険条例の一部改正)	全員賛成で承認
専決処分の承認(平成30年度養老町公共下水道事業特別会計の繰入の変更)	全員賛成で承認
専決処分の承認(平成30年度養老町一般会計補正予算(第8号))	全員賛成で承認
専決処分の承認(平成30年度養老町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号))	全員賛成で承認
人事同意	
監査委員の選任同意 田中 敏弘	全員賛成で可決
固定資産評価員の選任同意 大倉 修	全員賛成で可決

令和元年6月 定例会 こんなことがきました 審議した議案と その結果

議案	結果
養老町手数料条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町家庭的保育事業等の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町火災予防条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町特定非営利活動促進法施行条例の廃止	全員賛成で可決
予算	
令和元年度養老町一般会計補正予算(第1号)	全員賛成で可決
令和元年度養老町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成で可決
その他	
西南濃粗大廃棄物処理組合規約の変更に関する協議	全員賛成で可決
平成30年度養老町上水道事業会計決算の認定	全員賛成で認定
議員発議	
議員の派遣 全国市町村国際文化研修所「市町村議会議員研修1年目議員のために」 小寺 光信、清水由美子、西脇 康	全員賛成で可決
議員の派遣 全国市町村国際文化研修所「市町村議会議員特別セミナー」 野村 永一	全員賛成で可決

産業建設委員会へ付託された議案

令和元年度一般会計補正予算

問 養老桜・紅葉の山プロジェクトについて、町民参加の方針は。

答 本事業は12月から3月までに行う予定であり、また、今回植える場所が登山口の上の大洞(おおぼら)林道であるため、参加者が安全を確保しながら記念植樹等可能かどうか検討している。

問 養老桜・紅葉の山プロジェクトについて、今後のビジョンは。

答 昨年計画を策定し、今年度は養老の滝を中心に北西側を実施する。来年度は直江の滝付近を実施する計画を予定している。

問 養老桜・紅葉の山プロジェクトについて、町民への参加要請は。

答 町民の方には安全な形で参加してもらえらるならば、ぜひ参加してもらいたい。どの団体にどう声掛けをするか、今後検討していきたい。